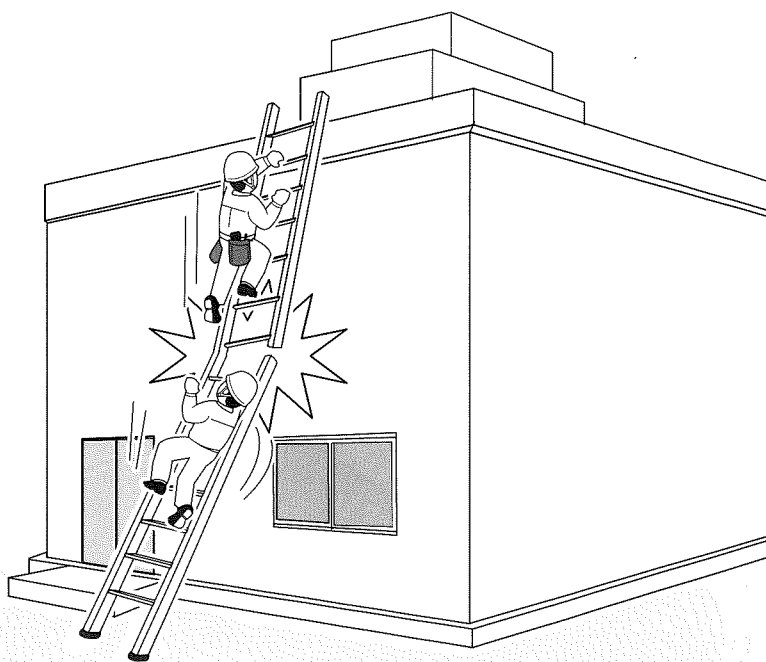


# ハシゴの支柱が破損して墜落負傷

## 二人でアルミ製のハシゴを上っていた

《災害のあらまし》職場内の高所に設置してある設備の修理を行うため、工務担当の作業員2名がアルミ製のハシゴ(長さ8m)を同時に上っていたところ、ハシゴの支柱が破損して折れ、2名とも地上に墜落し、手足に骨折等のケガを負いました。



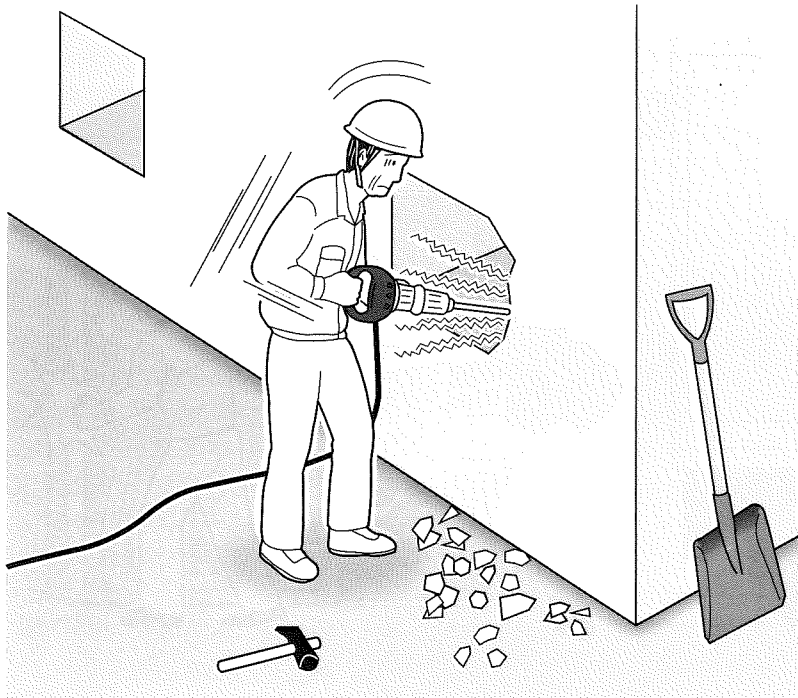
### 《災害の主な原因》

- ① 当該ハシゴの最大使用質量(耐荷重)は100kgとなっていたが、作業員2名が同時に昇降したため、最大使用質量を超えたこと。
- ② 経年劣化により支柱にひび割れ等が発生していたこと。
- ③ ハシゴは使用前に安全点検を実施することになつてはいたが、いつの間にか点検を実施しなかつていたこと、など。

### 《同種災害の防止対策例》

- ① ハシゴは使用質量(耐荷重)を超えて使用しない。また、させない。
- ② 同時に複数で昇降することを禁止する等の表示をハシゴの見やすい箇所に設置する。
- ③ ハシゴを使用する前に異常の有無について点検を行い、点検の結果、異常を認めるときは使用を禁止する。
- ④ ハシゴや脚立等、危険を伴う用具・器具について定期的に点検・整備・教育を行う。
- ⑤ ハシゴ等を使用する前に短時間のKY(危険予知)やRA(リスクアセスメント)を行い、ハシゴ災害の防止対策を実施する、など。

## 屋外の寒冷環境の中で 振動工具を使用して振動障害



《災害のあらまし》食品製造工場屋外の排水処理設備の改修工事現場で、ブレーカーを使用して排水設備のコンクリート壁の一部を破砕していた下請け工事会社の作業員(男性・65歳)が、その日の作業終了後、手や腕のしびれや痛みを訴えたので、病院の整形外科で診察の結果、振動障害と診断され、2週間の通院治療を受けました。

### 《災害の主な原因》

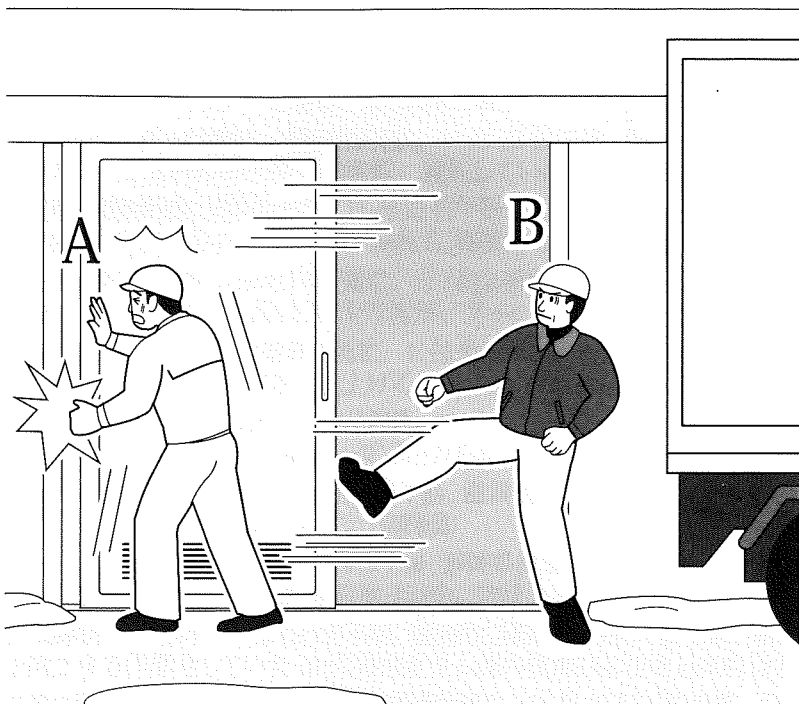
- ① 寒冷の屋外で、振動を伴う作業に長期間(7日間)、連続して従事していたこと。
- ② 寒冷な環境で振動工具を扱う際の防寒着、防振手袋等を使用していなかったこと。
- ③ 管理・監督者等が、振動を伴う作業の有害性を認知していなかったこと。
- ④ 振動工具の取扱いについて、教育や訓練が実施されていなかったこと、など。

### 《同種災害の防止対策例》

- ① 寒冷の場所で振動を伴う作業を行う場合は、保温性が高い衣類や防振手袋を着用する。
- ② 振動業務については連続作業時間等の作業基準を策定し、また、作業手順書を作成して教育・訓練を実施する。
- ③ 高齢者は振動障害を受けやすいので、振動用具の振動強度、作業時間等を配慮する。
- ④ その他、厚生労働省通達の「チェーンソー以外の振動工具の取扱い業務に係る振動障害予防対策指針」等を参照し、対策等を実施するなど。

# 凍りついた扉を開けていて手指を切断

## 加勢の運転手が扉を足で動かした



《災害のあらまし》1月の連休明けの月曜日の朝、運送されてきた貨物を倉庫に収めようと倉庫の係員A(男性・23歳)が鉄扉を開けようとしたが、扉の下方が氷で固着していて途中から開かなくなったため、トラックの運転手が足で扉を押したところ扉が急に動き、Aの左手第二指が扉と枠の柱に挟まれて切断しました。

### 《災害の主な原因》

- ① 扉の凍結状態をよく調べないで、そのまま力任せで開けようとしたこと。
- ② 二人の間で、凍結した扉を開けることについて方法の検討や合図等の確認がなされていないこと。
- ③ 運転手は善意で手伝ったが、普段からの同僚ではないので「息が合わなかった」こと。

- ④ 倉庫の扉はこれまで凍結して動かない状態があったのを放置されていたこと、など。

### 《同種災害の防止対策例》

- ① 凍結等で開閉が困難な扉等は作業(使用)前にスムーズに開閉出来るように整備する。特に連休明けは念入りを行う。
- ② 共同で力を入れる動作を行う場合は、相手の位置や力量等を配慮して、声を掛け合って慎重に行うよう、普段から習慣づけておく。
- ③ 職場の非常口や防火扉等の防災関連設備の点検や整備は、防火管理者や業者が行っているも、職場として定期的に必要な点検・整備を行う、など。

事故・災害事例から

# 労災・事故速報

(最近の新聞等から)

- ・建設中のマンション10階部分足場から転落、死亡。11月29日午後、京都府長岡京市のマンション建設工事現場で、インドネシア国籍の20代男性作業員が、解体中の足場の10階部分から約27m下に転落して死亡。(京都新聞)
- ・移動中の掘削機が倒れ、下敷きで死亡。11月28日午前、栃木県日光市で、林道の擁壁工事中に移動中だった掘削機が倒れ、移動させていた50代男性作業員が下敷きになり死亡。(下野新聞)
- ・点検歩廊が落下し、作業員2人重傷。11月26日午後、群馬県大泉町の自動車製造会社工場内で、男性作業員2人(50代・30代)が天井近くに設置の集塵機を撤去するため点検歩廊を歩行中、歩廊ごと落下して骨折等の重傷。(上毛新聞)
- ・屋根の修理中に転落して死亡。11月24日午前、福島県田村市の民家で、屋根の修理作業をしていた60代男性作業員が屋根から転落、頭の骨を折るなどして死亡。(福島民友新聞)
- ・工場で頭を強打して死亡。11月23日夜、兵庫県三木市の鉄骨の溶接作業などを行う工場で、40代男性作業員が倒れてきた鉄骨でバランスを崩して後ろ向きに転倒、その際に頭を強打して死亡。(神戸新聞)
- ・ホイールローダーが横転、運転者が死亡。11月22日午後、鹿児島県伊佐市の山林で、鉄製のワナを移動する作業をしていたホイールローダーが横転、運転していた70代男性が外に投げ出され死亡。(南日本新聞)
- ・水道管と掘削断面に挟まれ死亡。11月22日午後、京都府亀岡市の水道管理設工事現場で、ショベルカーの付属クレーンで吊るした重さ約1tの水道管が振れて、作業中の60代男性作業員が掘削断面との間に挟まれて死亡。(京都新聞)
- ・資材の積み込み中に下敷きになり死亡。11月22日朝、大阪市の運送会社の車庫で、建築資材をトラックに積み込む作業をしていた同社社長の70代男性が、フォークリフトの操作中に約2tの資材の下敷きになり死亡。(産経新聞)
- ・機械に巻き込まれ漁船乗組員が死亡。11月20日朝、富山県水見市沖の富山湾で、定置網漁船で作業をしていた50代男性乗組員が網やロープを引き上げる機械に全身を巻き込まれて死亡。(産経新聞)
- ・廃業の造船所で解体中のクレーンが倒壊。11月16日午前、兵庫県洲本市の廃業した造船所敷地内で、解体中のクレーンの箱型の作業スペースが約10mの高さから落下して倒壊、30代男性作業員2人が下敷きになり意識不明。(神戸新聞)
- ・屋根補修中に転落、死亡。11月15日午前、滋賀県大津市の民家で、2階の屋根の上で補修作業をしていた塗装工の40代男性が作業中に転落し死亡。(京都新聞)
- ・マンホール改修中に死亡。11月14日午後、静岡県伊東市で、マンホール内で改修作業中の30代男性が体調不良で地上に上がる途中で3m下に転落、病院搬送時命に別状なかったものの後に死亡。硫化水素が発生していた可能性。(産経新聞)
- ・ダム湖の排水口に引き込まれ行方不明、後日死亡確認。11月14日午前、新潟県三条市のダムで、ボートに乗って土砂を除去する作業をしていた50代男性がダム湖の排水口に引き込まれ行方不明、後日発見され死亡確認。(新潟日報)
- ・工場の梁とフォークリフトの荷台部品に挟まれ死亡。11月13日正午過ぎ、群馬県伊勢崎市の板金溶接工場で、同社従業員の80代男性が、工場の出入り口の梁とフォークリフトの荷台にある部品の間に挟まれ死亡。(上毛新聞)
- ・小型ショベルカーと防護柵に挟まれ死亡。11月13日午前、島根県松江市の県道沿いの災害復旧工事現場で、50代男性作業員が小型ショベルカーと鉄製防護柵の間に挟まれて死亡。(中国新聞)
- ・足場の解体作業中に転落し重傷。11月10日午前、群馬県中之条町の四万川にかかる橋で、橋沿いに水道管を敷設した際に設置した足場を高所作業車で解体中、20代男性作業員が足場から約13m下ののり面に転落し重傷。(上毛新聞)
- ・3階建住宅の外装工事中に転落、死亡。11月9日正午前、埼玉県草加市の住宅敷地内で、3階建住宅の外装工事に伴う足場の撤去作業をしていた自営業の60代男性が高さ約7m付近から転落し死亡。(埼玉新聞)
- ・工場の排気口で清掃中に転落、死亡。11月8日午後、大分県大分市の製鉄工場で、工場内の排気口で清掃作業をしていた20代男性社員が高さ2～3mの高さから転落して死亡。(大分放送)
- ・新幹線の線路で台車が重機に追突され作業員3人ケガ。11月4日深夜、京都市の東海道新幹線の線路上で、枕木の交換作業中に電動の台車が後続の重機に追突され、台車に乗っていた作業員3人が落下するなどしてケガ。(京都新聞)
- ・硫酸含む貯水槽に転落し死亡。11月3日午後、福岡県北九州市の自動車部品メーカーの工場で、機械補修作業中の19歳男性作業員が硫酸を含む液体が入った貯水槽に転落、下半身にヤケドを負い病院に搬送、後日死亡。(産経新聞)
- ・化学メーカー工場で爆発、1人死亡1人ケガ。11月2日午後、山口県周南市の合成石英ガラスなどを製造する化学メーカー工場で爆発が発生、40代男性作業員1人が死亡、50代男性作業員1人ケガ。(共同通信)
- ・工場火災で従業員3人がケガ。11月1日午後、奈良県安堵町の織物製造工場で、カーペットを加熱形成する機械から発火して火災が発生し、作業中だった男性従業員3人がケガ。(奈良新聞)
- ・柿の収穫中に高所作業車から落下し重体。10月31日午前、福島県国見町の柿畑で、収穫作業中に高所作業車が転倒、乗っていた70代の農業男性が落下し体を強く打って重体。(福島民友新聞)
- ・発電所で調査員が転落して死亡。10月30日午後、新潟県糸魚川市の電力会社発電所周辺で、導水路の付け替え工事に伴う調査測定の作業をしていた70代男性作業員が、高さ5mの堤防から転落して死亡。(産経新聞)